

日本語教育研究会 11月例会 後半

副学士コースにおける観光日本語 その問題点と敬語教育の今後

香港城市大学 専上学院(CCCU)
語文学部 講師 堀部昌一

日本語のコースに観光日本語？

- 問題点: 観光日本語の必要性
- サービス業に従事したい学生は
クラスにどれだけいる？
進学希望組 就職希望組
- 進学希望者やサービス業以外で活躍したい
学生はどうする？

CCCU副学士プログラムで 敬語を始める時期

- 2年生1学期の時点(学習時間 286 時間)
- 学習レベル:「みんなの日本語」25課まで
- 自分の言いたい事を日本語で話すのは難しい

それなのに
敬語を？

理想と現実

基礎の蓄積

- 平仮名→基礎文法→上級文法→敬語

制約がある中での最善

- 履修単位数 教養科目と専門科目
- 平仮名→基礎文法→敬語→上級文法

敬語の導入時期(CCCUの場合)

■ みんなの日本語

1年生		2年生		
1学期	2学期	1学期	2学期	
143時間	143時間	182時間	195時間	合計663時間(日研)
117時間	143時間	182時間	169時間	合計611時間(日本語)
平仮名	10課	20課	★ 30課	★ 37課 40課 49・50課
		観光日本語	ビジネス日本語	敬語

観光日本語とビジネス日本語

- 観光日本語(2年生の1学期)
- ビジネス日本語(2年生の2学期)

同じ敬語を使う会話

観光とビジネスを分けて教える必要があるか

観光日本語→ビジネス日本語の前の基礎固め
ビジネス日本語→観光日本語の知識
+ 敬語の応用

レクチャーとチュートリアル

★以前は4コマ/週 チュートリアルのみだった

- レクチャー 1コマ/週
- 文法(敬語)→第1週の授業のみ
- テーマ別基本表現の紹介

- チュートリアル 2コマ/週
- 文法(敬語)→第1週の授業のみ
- 実際の場面を想定したロールプレイ

チュートリアル

- キーセンテンスの例(お店での会計)
- 「ちょうだいいたします」
- 「お預かりいたします」

敬語導入時期による長短所

敬語先行型（観光日本語の中に取り入れた場合）

- 場面に応じた敬語の使い分けができるようになる
- 文法として敬語を後で習う際には確実に定着する
- 使える語彙や表現にかなりの制限がある

敬語後行型（ただ文法の一部として導入する場合）

- 基本文法を終えているので消化しやすい
- 習った語彙や文法の応用が利く
- 敬語の知識を習得しても使う事ができない

理想の敬語学習形態

- 理想
敬語後行で観光日本語やビジネス日本語も同時に取り入れる形
- 問題点
でも実際は制約があり、なかなかできない

CCCU日本研究コース卒業生の声

- お客様を乗せた車の中で名所の説明(雑談)ができた
- 敬語が自然と出た
- 会社ですぐに敬語が使えた
- お客様とうまくコミュニケーションが取れた

使われている敬語の実態

- 日本人の敬語
最近の若者
年配のかた
- 第一線で活躍する香港人の使う敬語
ガイドさん
香港の一流大学で日本語を勉強した卒業生
即戦力は？

敬語の重要性

- 日本語を勉強している学生は近い将来
日本人のお客様
日本人の友達のご両親
に接する機会がある

もっと敬語に力を入れるべきでは？

- フォーマルな場でのよりよいコミュニケーション
のために
- 親しき仲にも礼儀あり